

# 伊勢湾でつながる文化

## 歴史ピックアップ

### 奈良時代

- 西ノ浜などで作られた塩が、特産物として海を渡り平城京に届けられる

### 平安～鎌倉時代

- 渥美半島の大半が伊勢神宮領となる
- 伊良湖で東大寺再建の瓦が焼かれ、海路で都に運ばれる



(伊良湖東大寺瓦窯跡)

- 西行法師が伊勢から伊良湖に渡り和歌を詠む(1186年・文治2年)
- 伊勢詣でや熊野詣での参拜者で、東海道から分岐する「伊勢街道」の海路が賑わう

### 江戸時代

- 田原藩の大型帆船が伊勢参宮へ処女航海
- 「戊辰戦争」の「鳥羽・伏見の戦い」で敗れた幕府軍が、伊勢から日出村に敗走

### 明治時代

- 伊勢方面と豊橋を日1回往復する汽船が福江港にも寄港

### 現代

- 福江港から鳥羽への汽船の運賃「1円30銭」(昭和9年『郷土資料』)
- 伊良湖～鳥羽間にフェリーボートが就航(昭和39年11月)



(昭和40年代初頭の伊良湖港)

【参考】『田原町史』『赤羽根町史』『渥美町史』

## 航路存続決定までの経過

3月24日(木)

◆フェリー事業者が経営不振を理由に鳥羽伊良湖航路の廃止届を国(中部運輸局)へ提出

◆市内の行政、観光、商工関係者らで構成する「田原市伊勢湾フェリー対策会議」を発足(田原市役所)

3月25日(木)

◆愛知県知事、愛知県議会議長らに航路存続の支援を要望

4月8日(木)

◆東三河の自治体の首長や議長、観光・商工関係者らで構成する「東三河地域鳥羽伊良湖航路存続対策協議会」を発足(田原市役所)



東三河地域鳥羽伊良湖航路存続対策協議会

良湖航路存続対策協議会」を発足(田原市役所)

4月12日(月)

◆田原市議会臨時会で「鳥羽～伊良湖航路」の存続に向けた施策を求める意見書」を採択

4月21日(水)

◆愛知県、三重県、田原市、鳥羽市、中部運輸局、中部地方整備局の関係者で構成する「鳥羽伊良湖航路対策協議会」が発足(三重県津市)

4月27日(火)

◆フェリー事業者らも参加し、第2回鳥羽伊良湖航路対策協議会が開催(名古屋屋市)

4月28日(水)

◆田原市議会と鳥羽市議会が、航路存続に向けた施策を求める意見書

を国土交通省へ提出

5月25日(火)

◆鳥羽伊良湖航路需要増加事業の補正予算案を市議会へ上程

6月4日(金)

◆第3回鳥羽伊良湖航路対策協議会を開催(三重県津市)

6月22日(火)

◆第2回東三河地域鳥羽伊良湖航路存続対策協議会を開催(田原市役所)

6月23日(水)

◆航路存続を求め14万3387名分の署名を愛知県知事、愛知県議会議長らへ提出



市内関係団体の署名を集約

6月28日(月)

◆鳥羽伊良湖航路需要増加事業の実施を発表

8月16日(月)

◆東三河地域、伊勢志摩地域で集約された28万7613名分の署名と航路存続を求める要望書を国土交通省へ提出

8月20日(金)

◆第4回鳥羽伊良湖航路対策協議会が開催(三重県津市)。現フェリー事業者による航路事業存続に基本的合意

8月23日(月)

◆フェリー事業者が鳥羽伊良湖航路の廃止届を取り下げ

◆第3回東三河地域鳥羽伊良湖航路存続対策協議会を開催(田原市役所)